

岡山県

# せいきよう連 会報

2017年

新年号

賀正



## CONTENTS

- 1 会長理事
- 2 岡山県知事
- 3 岡山県議会議長
- 4~5 県議会会派代表のみなさま
- 6~8 各界の方々
- 9~10 副知事、議員、行政担当部署と懇談し  
情報提供や意見交換を行いました。
- 11 協同組合間の連携を進めました。
- 12~14 会員生協の組合員、役員・職員が  
交流し、学びました。
- 15~16 岡山県消団連、NPO消費者ネットおかやまとともに
- 17~19 会員生協トピックス
- 20~22 会員生協紹介
- 23 岡山県生協連紹介

岡山県生活協同組合連合会

# 新年のご



岡山県生活協同組合連合会

会長理事

**近藤清志**

新年あけましておめでとうございます。

行政並びに友誼団体のみなさまにおかれましては、日頃から当生協連に対しまして、ご指導、ご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

会員生協のみなさまには、暮らしと健康、いのちを守り、地域社会の発展のためにご奮闘されていますことに心より敬意を表します。

東日本大震災から6年がたとうとしています。全国で避難生活をされている方は13万4千人となり、仮設住宅での不自由な暮らしを未だに強いられている方は3万9千人と先行きが見通せない状況が続いています。

一方去年は熊本地震の発生や台風による豪雨災害、鳥取地震など自然災害が後を絶たない状況が続き、全国の生協から支援が行なわれました。改めて生協の社会的役割の重要性を感じた年でもありました。

私たちの暮らしをめぐって企業収益は改善してきているものの、雇用の不安定化や実質賃金の伸び悩み、社会保障費の負担増等、将来への不安も含めて、家計消費の低迷が続いています。また貧困と格差の拡大は子どもへの連鎖となって表れ社会全体の問題となっており、持続可能な社会を実現するためにも子どもや若者を中心とした貧困問題に取り組むことが求められています。

去年は、国連総会第1委員会にて、核兵器を法的に禁止する「核兵器禁止条約」について来年から交渉を始めるとの決議を、賛成多数で採択し、本格的

な議論が初めて国連で行われることとなります。

生協連では岡山市被爆者会からの呼びかけで「ヒバクシャ国際署名」に取り組む予定にしています。核兵器廃絶にむけて、大きく前進することを願ってやみません。

昨年、平和について考えることを目的に沖縄へ研修に伺いました。あらためて戦争が非人間的な行為であり、再び戦争をすることがあってはならないことを学び、沖縄に集中する基地に囲まれて暮らす人々の苦難や危険について知ることが出来ました。

消費者行政の分野では、引き続き高齢者を中心とした消費者被害が後を絶たない中、地域での見守りネットワークの構築が不可欠であり、私たち生協もその一員としての取り組みが求められています。

少子高齢化社会の進展や社会構造の変化により、人と人が結びつくことが大変困難な時代となっている中、会員生協では、行政との見守り協定や災害時物資協定の締結、食事会、サロン、子ども食堂など居場所づくり、健康づくりなど、取り組みが広がった1年でもありました。

引き続き行政や他団体、協同組合間の連携を強め、地域社会づくりや生協らしい地域包括ケアの構築にむけ、会員生協とともに取り組みを進める1年としていきたいと思っております。最後になりますが、皆様にとりまして、この1年が実りある1年となりますことを祈念致しまして、挨拶とさせていただきます。今年もどうかよろしくお願い致します。



## すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き活き岡山」を目指して



岡山県知事

伊原 隆 太

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、岡山県生活協同組合連合会の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年行われた知事選挙におきまして、皆さまのご信任をいただき、引き続き県政を担わせていただくこととなりました。我が国は、少子化が急速に進み、人口減少問題の克服が喫緊の課題となっており、本県においても、おかやま創生の実現に向け、総力を挙げて取り組まなければならない大変重要な時期にあります。こうした中で、2期目の県政を担うことができますことは、誠に光栄なものと存じますとともに、改めてその重責に身の引き締まる思いであり、決意新たに新年を迎えました。

これまでの4年間、県民の皆さまの幸せのため、また、県全体の発展のため、「顧客重視」、「コスト意識」、「スピード感」の3つの視点に立ち、前例踏襲を是としない県政運営に努め、「教育県岡山の復活」、「産業の振興」など重点戦略を中心にさまざまな施策を推進してまいりました。

その結果、小学生の学力向上、非行率の半減、企業誘致における投資や新規雇用、さらには、刑法犯認知件数の減少などの成果が現れ、県民生活のさまざまな分野で、新しい種が芽吹き、好循環の流れが加速しはじめています。

しかし、県政の基本目標である「生き活き岡山」の実現は道半ばであり、この好循環の流れを一層加速させるため、「教育県岡山の復活」と「産業の振興」を本県発展の好循環のエンジンに、若い世代の結婚から子育てまで切れ目ない支援や移住・定住策の推進、医療・福祉サービスの充実など、成果が実感できる県政をさらに推し進めてまいります。

また、人口減少問題を克服し、将来にわたって持続的に発展していく、活気あふれる力強い県となるためには、新しい時代の潮流や変化を踏まえ、県、市町村、企業、NPO、大学など多様な主体が、おかやま創生の実現に向け総力を挙げて取り組んでいく必要があります。

現在、来年度からの4年間を計画期間とする新たな県政の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き活きプラン（仮称）」の策定作業を進めており、皆さまからのご意見を反映させた上で、3月までの策定を目指しています。

昨年公表した新プランの素案は、現プランの方向性を基本としつつ、地方創生や働き方改革、グローバル化の進展など、新たな動きを踏まえたものとし、さらに、政策間連携はもとより、市町村連携や官民協働など「連携」をキーワードに新たな事業にチャレンジする「おかやま創生推進連携プロジェクト」を掲げています。

皆さまから寄せられた信頼とご期待にお応えするため、新プランを策定した上で、この新たな羅針盤に沿って、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に全身全霊で取り組み、成果が実感できる1年となるよう全力を尽くしてまいります。皆さまには一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

# 新年のご

岡山県議会議長・



岡山県議会議長

井元 乾一郎

平成29年の年頭に当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

県民の皆様には、新春を清々しくお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

私ども岡山県議会は、住民に身近な県議会を目指し、公明正大な議会運営にあっております。また、行政に対するチェック機能を果たすとともに、県政における最終的な意思決定機関としての役割を担い、県民福祉の向上と県勢の発展のため邁進しているところです。

今日、我が国は、少子高齢化が急速に進展するとともに、これまで経験したことがない人口減少の時代を迎えています。とりわけ地域経済の衰退、地域の活力低下が危惧される中、地域の持続的な発展を目指して、全国各地で「地方創生」に向けた動きが本格化し、本県においても「おかやま創生総合戦略」にもとづく取り組みが始まっています。

今後、一層進むと考えられる社会構造の変化を見据え、本県の有する魅力や優位性、財産を最大限活用し、今後の発展へとつなげる施策を実施していく上で、各種企業や団体、そして県民の皆様と協力して取り組みを進めていくことが、ますます重要になっているところです。

こうした中、県民の皆様から直接選挙で選ばれる二元代表制のもと、行政に県民の声を届けるとともに、行政を県民の立場から監視する責務を負う県議会の役割も、ますます大きくなっていると感じています。地域性豊かで、多彩な特色を有する本県において、県内各からの声を、余すことなく県政に届け、よりよい県民生活の実現につなげていくため、私たち岡山県議会は、議員一同、全力を挙げて取り組んでまいり所存です。

さて、去年は、選挙権年齢が18歳に引き下げられてから、初めての選挙が実施されました。近年は、投票率が低下し、特に若者を中心に政治離れが危惧されています。こうした中、岡山県議会としても、選挙権年齢の引き下げを、政治に目を向け、関心を持ってもらうための契機ととらえ、情報公開や県民の皆様との対話等を通じて、開かれた岡山県議会を目指し、政治が県民の皆様にとってより身近で、より信頼が得られるものとなるよう努めてまいります。

結びに、新しい年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう、併せて、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

# あいさつ

## 会派代表のみなさま



自由民主党岡山県議団  
団長

渡辺英気

新年明けましておめでとうございます。  
岡山県生活協同組合連合会の皆様方には、よき初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には「人と人とがつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現」を2020年ビジョンとして掲げられ、様々な事業展開と幅広い活動により、県民の生活の安定と生活文化の向上に努められ、心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の県知事選挙において伊原木知事が再選され、二期目の県政がスタートしました。地域社会が大きな転換期を迎えるなか、私ども自由民主党岡山県議団は、これまで以上に知事と切磋琢磨し、夢と希望と活力あふれる郷土岡山県づくりに全力を傾注する決意であります。格別のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

ところで、先に2015年国勢調査の確定値が発表され、日本の総人口が大正9年の調査開始以来、初の減少に転じたことが判明しました。人口減少に耐え得る社会づくり、すなわち地方創生に向けて、国、地方、官民が一体となって取り組んでいかねばなりません。貴連合会は、自治体との地域見守り協定の締結をはじめ、地域のネットワークづくりに取り組まれ、このことは地方創生に大きな力を発揮されるものと期待されています。引き続き、地域社会の暮らしを守り、支える助け合いの組織として、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会の益々のご発展と、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



民主・県民クラブ  
団長

高原俊彦

新年明けましておめでとうございます。  
県民の生活の安定と生活文化の向上に取り組んでいらっしゃる皆様は、心より敬意を表します。

昨年末には県議会議員との意見交換の機会を設けていただき、消費者の意識啓発をはじめ、地域の見守り活動や防災への取り組みなど、地域に根付いた皆様の取り組みの一端を伺うことが出来ました。県民の生活を支える存在として大変心強く感じています。

さて、我が国の将来を担う子どもたちの6人に1人が貧困状態にあるとされています。さらには大学生の二人に一人が奨学金を利用し、社会人としての出発点から多額の借金を背負い苦しんでいる状況もあります。その背景には非正規雇用が雇用者の4割に達するなど、世帯年収が減少し続けているこ

とにあると思われま。

遅まきながら政府においても給付型奨学金制度の創設について検討されているようですが、先進国の中でも十分とは言えない子育て・教育への投資を増やすことが求められています。また、介護保険における介護予防・日常生活支援総合事業への移行にみられるように、高齢者を地域でいかに支えていくかが問われる時代となっています。

ともすれば自己責任だけが強調される「分断社会」ではなく、お互いが支えあえる「共生社会」を作っていくために、皆様のような「助け合いの組織」の存在は今後ますます重要なものとなるでしょう。

貴連合会・組合員の皆様におかれましては、地域社会の担い手として、一層ご活躍いただきますようお願い申し上げます。新年にご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご

## 岡山県議会会派代表のみなさま



公明党岡山県議団  
団長

高橋英士

新年明けましておめでとうございます。

日頃の皆様のご活躍に心から敬意を表するとともに、今年が更なる躍進の年になりますことをお祈り申し上げます。

さて昨年国会では、公的年金の受給資格を得るのに必要な加入期間（受給資格期間）を25年から10年に短縮する無年金対策について、施行日を「消費税率10%への引き上げ時」から「来年8月1日」に前倒しする改正年金機能強化法が成立しました。

これは公明党が昨年の参議院選挙の重点政策に掲げていたもので、選挙後の山口代表と安倍総理との党首討論でもアベノミクスの効果がまだ及んでいない高齢者などへの政策として「無年金者対策を望む声は大きい」と訴え、安倍総理が「最大限努力したい」と答えていたものであ

りました。

これにより約64万人が新たに年金の受給資格を取得すると言われていました。また将来にわたって無年金となる人を大幅に減らす効果も期待できます。

さらに、文部科学省は今年度入学の大学・専門学校などへの進学者から、低所得世帯の子どもを対象に、無利子奨学金の成績要件を実質的に撤廃することを決めました。これも公明党の主張が実ったもので、高校での成績が5段階評価で平均3.5以上という成績要件を満たさない限り、「有利子」で借りることを余儀なくされ進学を断念するケースもありました。

今年も県民の目線に立ってどんな小さな声でも真剣に受け止めて、その声の実現に向けて全力で取り組んでまいります。



日本共産党岡山県議団  
団長

森脇久紀

新年あけましておめでとうございます

岡山県生活協同組合連合会の皆様方には、行政にはできないきめ細かな住民サービスの担い手として、くらしと健康、福祉の向上など様々な分野でご活躍されておられますことに心から敬意を表します。

昨年は、7月に参議院選挙、10月に県知事選挙がおこなわれました。最近の選挙では投票率の低さが問題になります。参院選は選挙権年齢が18歳以上になって初めての選挙となり、主権者教育の影響もあってか18、19歳の投票率は若干上がったものの、全体として大きく改善するには至りませんでした。政務活動費や企業団体献金など「政治とカネ」の問題、国民の声を聞かない政治などに

批判の声があがっています。議員自身も襟をただし、国民から信頼される政治が必要との思いを強くしています。

参院選では、「市民と野党の共闘」という新しい枠組みでのたたかいが力を発揮し、政治を変える新しい力になることに確信を持つことができました。安保法制による「駆けつけ警護」など武器使用要件が拡大された自衛隊の南スーダンへのPKO派遣、カジノを認めるIR推進法、年金改悪など暴走政治が国民の願いとの矛盾を大きくし、さらに大きな怒りがわき起こっています。

平和と民主主義、国民生活の根幹をなす憲法に対する攻撃も強まっているいま、今の政治に怒る広範な人々と力を合わせ、憲法にもとづく政治を取り戻す年にしたいと思います。

# あいさつ



## 新年のご挨拶



日本生活協同組合連合会  
代表理事会長

浅田 克己

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の役職員の皆様が、組合員のくらしや地域を支えるため、日々奮闘されておられることに心より敬意を表します。

東日本大震災から6年が経とうとしています。昨年4月には熊本地震、10月には鳥取県中部地震、そして11月には福島にて震度5を超える地震が発生しました。また、夏には北海道、東北地域に台風が上陸するなど、全国各地で自然災害による甚大な被害が発生しました。全国の生協は発災当日から支援を進め、被災地、被災者に寄り添い、力強く、温かい支援を継続して取り組みました。熊本地震における全国の募金額は11億円を超えるなど、被災地の復興に大きく貢献しました。全国の多くの組合員が善意を託す相手先として、生協を選んでいただいていることに改めて感謝申し上げたいと思います。助け合いの組織として信頼いただいていることを胸に刻み、支援の継続と新たな災害への備えに、全国で力を合わせて取り組んでいきましょう。

昨年英国のEU離脱や米国大統領選挙など世界的にナショナリズムが台頭する傾向は、国際情勢を一層不安定にしつつあります。一

方、国連では各国に対して持続可能な開発目標(SDGs)に基づき行動するよう要請しており、持続可能な社会にむけて21世紀にふさわしい国際的な連帯が求められています。日本国内においては、安全保障関連法に基づく「駆け付け警護」が、新たな任務として国連平和維持活動(PKO)での陸上自衛隊派遣に課されました。憲法改定などの議論が今後行われる可能性があり、憲法の平和主義や立憲主義が問われる状況となっています。「平和とより良き生活こそ理想」とする生協は、今こそ協同組合の力を発揮し、平和で持続可能な社会の実現に向け、力強く参加していきましょう。

くらしに目をむければ、国内における格差・貧困の問題は深刻な状況を迎えています。消費税のさらなる増税は延期されましたが、社会保障など国民の負担は増す一方です。そうした中、安心してくらせる地域社会づくりのために、事業や活動を通じて、組合員のくらしの向上をめざし、困難な諸課題に取り組む事例が広がっています。全国の生協では、介護・福祉の担い手として、自治体や社会福祉協議会などと連携した事業・活動が進められています。また、地域の中での支え合いの活動として、「子ども食堂」やフードバンク・フードドライブなども広がり始めています。社会や環境、人に配慮してモノやサービスを買う消費のあり方(倫理的消費)に対応するCO・OP商品の取り扱いも広がっています。今後一層くらしに寄り添った事業や活動の展開が求められています。全国の生協の連帯、諸団体・地域との連携を通じ、くらしに貢献すべく取り組みをさらに強めていきましょう。

最後になりますが、この1年が皆様にとって実り多い年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のごあいさつ

## 協同組合・友誼団体代表のみなさま



岡山県農業協同組合  
中央会会長

青江 伯夫

新年明けましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、JAグループの事業及び農業振興に格別のご理解、ご支援を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、昨年、政府は「農業競争力強化プログラム」を策定し、JA全農や生産資材、生乳流通などの改革方針を決定しました。この決定過程では、規制改革推

進会議が、与党・農業団体間の積み上げを無視する形で、自主・自立の協同組合を否定する内容を含んだ急進的な意見を発表し、改革議論が混乱するなど、将来に懸念を残す結果となりました。

また、政府は、環太平洋連携協定（TPP）推進と農業改革を成長戦略の柱と位置付け、農業の競争力強化や輸出戦略に力を入れ、農業・農村所得を10年間で倍増させる目標を掲げていますが、

TPPの発効見通しの不透明さなど、全体の制度設計に矛盾や狂いが生じてきています。

そのような中、JAグループ岡山では、第33回岡山県JA大会決議を基に、「農業者の所得増大」を最重点の目標に掲げ、組織を挙げ自己改革を展開中です。自主・自立を基本とする協同組合として、農業者の立場に立った自己改革を推し進めております。

一方で、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としての県民理解を醸成するべく、「笑味ちゃん天気予報」（RSKテレビ月～金曜日、18時50分～19時）の放映を行っています。この番組を通じ、「農家の元気」「農業の元気」「地域の元気」を県民の皆様にお届けできるよう、JAグループ岡山が一丸となって取り組んでまいります。

このような活動に取り組みながら、本県の農林水産業の裾野を、これからも皆様と一緒に広げて参ります。協同組合運動の発展に向け、生協と私たちJAがさらに連携し頑張る参りましょう。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとりまして最良の年となりますよう、また皆様のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



岡山県漁業協同組合連合会  
代表理事会長

平田 晋也

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員及び組合員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、一昨年大筋合意されたTPP協定は各国で議会承認が進んでいますが、アメリカ新大統領の就任で協定発効が厳しい状況となりました。

JF岡山漁連はTPP対策として広域浜プランを策定し、効率的な操業体制の確立、競争力強化型機器等導入・競争力強化漁船リース事業での支援を実施していますが、事業継続が不透明な状況となっ

ています。

JFグループ（笠岡市）では、昨年度から新たにおかやまコープ等と“美しく豊かな海づくりに関する協定書”を締結し、アマモ場再生・稚魚放流・海ごみ回収等の活動に取り組んでいます。

さらに、海岸清掃・干潟整備など環境保全活動や資源管理に取り組み、魚食普及活動などをおし、新鮮で安心・安全な水産物の魅力を消費者に伝えてまいりますので今年もよろしく願いいたします。

また、岡山県協同組合連合会協議会での連携・交流を強化し、岡山県生活協同組合連合会の社会的認知度を高めたいと考えております。

最後になりましたが、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



岡山県森林組合連合会  
代表理事会長

## 井手 紘一郎

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の会員・組合員の皆様には、輝かしい新年をお迎えることとお喜び申し上げます。

皆様方には、安全で安心な商品・サービスの提供をはじめ、社会貢献や環境保全など様々な分野で活動され、消費者の権利の確立と暮らしの安全・安心につながる社会システムづくりをめざして御尽力されておられますことに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、昨年を振り返りますと、東北地方を中心に被害をもたらした迷走台風10号や熊本地震、鳥取県中部地震など自然災害が猛威をふるい、各地で多大な被害をもたらした一年でありました。各地の早急な復興対策への取組が望まれるところであります。

農林水産業は、食料や木材など暮らしに欠くことができない最も基礎的なものを供給する機能に加え、県民が安心できる豊かな暮らしを守る基盤として重要な役割を担っています。中でも森林は、木材の生産、水源の涵養、土

砂の流出防止、地球温暖化防止などの多面的な機能を発揮することにより私たちの生活に大きな貢献をしています。

県内の森林は、戦後、造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えており、豊富な森林資源を循環利用することが重要な課題であり、我々森林組合系統といたしましては、県民の暮らしと健康を守る観点から、伐採後の再造林や災害に強い森林の整備を推進することにより、健全な森林づくりを目指し、努力する所存であります。

皆様方の森林・林業への一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、岡山県生活協同組合連合会のますますの御発展と組合員の皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げ新年の御挨拶いたします。



(一社) 岡山県労働者福祉協議会  
会長

## 金澤 稔

新年明けましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今、日本社会では、格差と貧困が拡大し、経済や社会保障などの社会の仕組み、さらには政治や民主主義のあり方にも影響を及ぼしています。とりわけ教育の格差が貧困の連鎖を産み、若者の貧困がブラック企業やブラックバイトを蔓延らせ、さらには少子化や人口減少にも大きな影響を与えています。

次世代を担う若者を支援していくため、一昨年から労福協が呼びかけ、奨学金と呼べない日本の奨学金制度の改善に向けて取

り組んできました。皆様方にも多くのご協力をいただき、政府も動かざるを得ないところまで辿り着くことができました。今後も労福協運動の歴史と理念を継承・発展させ、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けて、運動を強化してまいります。

終わりにになりましたが、岡山県生活協同組合連合会の益々のご発展と、組合員皆様方の今年1年間のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の御挨拶いたします。



(一社) 岡山県婦人協議会  
会長

## 土屋 紀子

新年あけましておめでとうございます。

岡山県生活協同組合連合会の、皆様が日々地域に根付いた取組み幅広い活動を展開されている事に心より敬意を表します。

私達婦人協議会は、それぞれの地域の暮らしの中で気づいたさまざまな課題に取り組んで来て居りますが、各地の地域の婦人会の活動は幅広く生活のあらゆる面に及ぶと申しましても過言ではありません。一人ひとりが地域を担い互いに支え合い乍ら具体的な実践活動をさせて頂いて居ります。

これからも組織力を発揮して行政とタイアップし乍ら各種団体と連携して、安心・安全で生き生きと暮せる社会をめざして小さな一歩ではありますが、明日に向かって歩いて行きたいと思えます。

終わりにになりますが岡山県生活協同組合連合会の会員組合、及び組合員の皆様のご尽力に対しまして感謝申し上げますと共に、益々のご発展とご健勝を御祈念致しまして新年の御挨拶とさせていただきます。

# 副知事、議員、行政担当部署と懇談し

## ●岡山県副知事との懇談【2月10日 県庁3階第2会議室】

岡山県から宮地副知事、くらし安全安心課岡野課長、竹井総括参事、前田主任に出席頂き、県生協連からは3役と女性理事7名が出席して懇談を行いました。

最初に生協から、地産地消や商品づくり、市町村との協定締結、ボランティア活動、災害に強いまちづくり、子育て支援など報告しました。

宮地副知事から、生協の取り組みが幅広い分野で行われていることに感心頂き、特に地産地消や産直、災害や見守り協定の締結、子育て支援などにふれられて話されました。

宮地副知事に代わられて初めての懇談となり、生協の様々な取り組みを理解して頂く機会となりました。



## ●岡山県行政との懇談会【2月10日 県庁会議室】

岡山県から、くらし安全安心課岡野課長、竹井総括参事、前田主任、長寿社会課小原総括参事に出席頂き、県生協連からは10名が出席して懇談を行いました。岡野課長より、サポーター講座の開催や適格消費者団体に認定されたことにふれて挨拶が行われ、続いて県生協連より開催のお礼の挨拶を行いました。その後要望書に対する回答が行われ、行政からは消費者啓発の協同の取り組みや健康づくり、介護職員不足、国に対する要望、予防事業の取り組み、生協の役割など話されました。引き続き関係を強め、協力して取り組みを進めていくことが必要となります。



## ●岡山県への要望書の提出について【10月12日 県庁くらし安全安心課】

岡山県に対して要望書を取りまとめ、提出しました。

①生協の社会的取り組みに対する評価、行政としての位置づけ ②食の安全安心に関して ③子育て支援、子どもの貧困、奨学金問題 ④健康づくり、健康寿命の延伸 ④地域社会づくりへの参加 ⑤地域包括ケアシステム、介護予防・日常生活支援総合事業 ⑥環境問題 ⑦災害対策 に関する11の要望となっています。岡山県から黒川課長、竹井総括参事、松本副参事が対応して頂き、要望書の内容について説明しました。



## ●第32回 中国四国生協・行政合同会議【9月1日 松江市ホテル一畑】

第32回中国四国生協・行政合同会議が「住みやすい地域づくりに求められるこれからの連携」をテーマとして開催されました。

日本生協連中四国地連小泉議長より開会挨拶が行われ、続いて島根県溝口県知事より、地域づくりの大きなパートナーとして期待していることにふれた挨拶が行われました。厚生労働省社会・援護局地域福祉課消費生活協同組合業務室金子室長補佐より、生協は各事業を通じての貢献や高齢者や子育て世代の居場所づくり、見守り協定の締結が進められ、暮らしを支える担い手の1つとして期待をしていることの挨拶が行なわれました。続いて消費者庁消費者教育・地方協力課平田政策調査員より、消費者問題の現状として高齢者被害やスマートフォンでの契約トラブル等説明され、最後に地域での見守りネットワークを築くために生協へも協力をお願いすることの報告が行われた。日本生協連より渉外広報本部伊藤本部長から全国の生協の取り組みが報告され、続いて「地域社会づくりへの参加の取り組み」生活協同組合おかやまコープ竹田理事、「子育て支援」と「ハッピーシリーズ」の取り組み 生活協同組合とくしま生協多田副理事長、「小規模多機能自治による住民主体のまちづくり」雲南市政策企画部地域振興課板持主査、「おたがいさまの活動から地域のつながりへ」地域つながりセンター高橋代表からそれぞれの先進的な取り組みが報告されました。分散会(グループ交流)では「行政と生協で一緒に出来ること」をテーマに意見交換を実施し、理解を深めることが出来ました。



# 情報提供や意見交換を行いました。

## ●第28回 岡山県議会議員のみなさまとの懇談会を開催【11月29日 オルカ】

11月29日岡山県議会議員と生協連との懇談会を開催し、全会派から11名の議員に参加頂き、「地域社会づくりへの参加と取り組み ～社会的取り組みとこれから～」をテーマとして懇談を行いました。

### 【ご出席頂いた県議会議員のみなさま】

- |           |          |          |          |
|-----------|----------|----------|----------|
| ○自由民主党    | 太田 正孝 議員 | 蜂谷 弘美 議員 | 河野 慶治 議員 |
| ○民主・県民クラブ | 高原 俊彦 議員 | 中川 雅子 議員 |          |
| ○公明党      | 山田 総一郎議員 | 増川 英一 議員 | 荒島 俊造 議員 |
| ○日本共産党    | 氏平 三穂子議員 | 須増 伸子 議員 |          |
| ○無所属      | 木口 京子 議員 |          |          |



太田 正孝 議員



蜂谷 弘美 議員



河野 慶治 議員



高原 俊彦 議員



中川 雅子 議員



山田 総一郎議員



増川 英一 議員



荒島 俊造 議員



氏平 三穂子議員



須増 伸子 議員



木口 京子 議員



開会にあたり県生協連近藤会長から、懇談参加のお礼と今回のテーマ、地域包括ケアの構築にふれて挨拶を行い、その後各議員から、自己紹介も含めて生協に対する係りや期待など挨拶頂きました。

続いて、生協から熊本地震での全国の生協の取り組みの動画、パワーポイントを使って宅配や夕食宅配、移動販売車や買い物支援、商品を通じた地域づくり、たすけあいの会、行政や他団体と連携してのサロンや食事会の開催、子ども食堂の取り組み、健康づくり、防災訓練などについて報告しました。

その後の意見交換では、議員の方から配送時の様々な様子や子どもの貧困問題への取り組み、社会インフラ整備に関して、移動販売や買い物支援、生活困窮者に対する住宅支援、支援事業に関して自治体での受け皿の問題と生協の役割、災害時の救援物資支援や引越支援ボランティアなどについての質問や意見、要望を頂き、懇談を行いました。

武部副会長から、懇談のお礼と取り組みへの決意を含めて閉会挨拶を行い終了しました。

お忙しい中、また議会初日にも係らず懇談会に出席頂きました議員の皆様にお礼申し上げます。

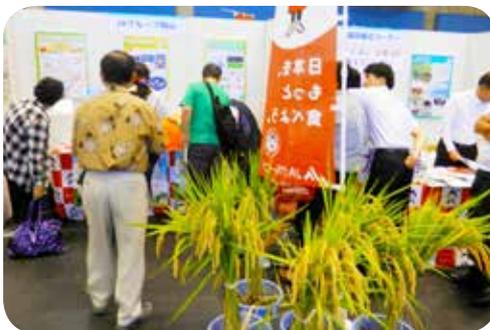


# 協同組合間の連携を進めました。

## ●協同組合協議会でコープフェスタに出展 多くの方がクイズラリーに参加しました



9月24日コンベックスおかやまで開催されたおかやまコープ主催コープフェスタ2016に協同組合コーナーとして出展し、生協、農協、漁連、森林組合それぞれの特徴を生かした展示やクイズラリーを行い、多くの方で賑わいました。実施したクイズラリーは500人分用意しましたが、早々と終了しました。これまで協同組合間の取り組みとして、講演や交流を中心に開催してきましたが、今回は、より実践的な取り組みの交流を進めることからコープフェスタへの参加となりました。



## 12回国際協同組合同盟アジア・太平洋地域(略称：ICA-AP)総会が開催されました

2016年11月15日～18日まで、インド・ニューデリーで、第12回国際協同組合同盟アジア・太平洋地域（略称：ICA-AP）総会と、第9回協同組合フォーラムおよび生協委員会、女性委員会などの関連会議が開催されました。日本生協連からは、代表理事会長 浅田克己、副会長 本田英一、副会長 新井ちとせ、専務理事 和田寿昭、理事 新保雅子が参加しました。

協同組合フォーラムでは、「協同組合：持続可能な未来のために行動する力」をテーマに、国際機関、政府関係者および協同組合関係者の報告が行われました。会場から活発な質疑が行われ、論議を深めることができました。

地域総会では、2014年・2015年決算と2016年予算の報告が行われたほか、2017年～2020年ICA-AP戦略計画の提案・承認とICA-AP役員選挙が行われました。ICA-AP副会長には、副会長 新井ちとせが選出されました。ICA-AP女性委員会の委員長には、前期に引き続き、理事 新保雅子が再選されました。そのほか生協委員会、女性委員会など各委員会の活動報告が行われました。



# 会員生協の組合員、役員・職員が交流し、学びました。

## ●県連・会員生協役員研修交流会【1月8日 オルガホール】



山陽新聞社影山論説委員

県生協連会員生協役員研修交流会を51名の参加で開催致しました。

県生協連近藤会長から最近の情勢や地域社会づくりへの参加にふれて開会挨拶を行い、続いて岡山県くらし安全安心課岡野課長より、消費者をとりまく状況や消費者ネットおかやまが適格消費者団体に認定され、被害の未然防止、拡大防止に期待していることなど挨拶が行われました。

山陽新聞社影山論説委員から「滴一滴からみえる地域・社会そして暮らし」をテーマとして講演して頂きました。

新聞は情報を読み解く力、それを作る役割を任ていること、いくつもある見方について、一面的な見方だけでなく両方の見方を提起しながら、読者が判断してもらうことを意識して作成している。

社会全体でいろいろな人たちが働き続ける制度がようやく出来上がってきた。政治の意志決定の場にこそ男女同数で行うことが必要であり、女性が声を出していくことの意味や女性が活躍するのは、経済のためでなく、平和のためだと思っていること、また、子育てと仕事の両立において努力されていることなど貴重な話を聞いて頂きました。

つづいて岡山大学倉地名誉教授から「絵図であるく岡山城下町」をテーマとして大変興味深いお話を聞くことができました。



倉地名誉教授



## ●組合員活動交流集会【1月25日 オルガホール】

当日は雪に見舞われ県北中心に参加できない方が多数となりましたが、151名の参加で組合員活動交流集会を開催致しました。

「だれもが安心して暮らすことができる地域社会をめざして ～私たちが進めるまちづくり、健康づくり～」を全体テーマとして行ない、講演は、みらいクリニック院長今井先生から「口を閉じれば病気にならない～あいうべ体操のススメ～」と題してお話を頂きました。

今井先生からは、口呼吸の健康被害に注目し、口呼吸によって口腔内に雑菌が繁殖しやすくなると口臭も強くなり、免疫系の働きも大きく阻害される。鼻呼吸の大切さ、口呼吸の改善は、あらゆる病気の原因治療につながる。「あいうべ体操」を継続している人は、自然に鼻で呼吸ができるようになり、症状も改善していくことなど具体的な事例も含めて大変分かりやすくお話して頂きました。

実践報告として、津山医療生協から「介護者のつどい」、おかやまコープから「地域社会づくりへの参加の取り組み」について報告され学ぶことが出来ました。

参加者からは、「とてもわかりやすく楽しくためになる話でした。子どもにもさせてみようと思います。健康は誰もが関心をもてることなのでとても興味をもって聞くことができました」など良かった声が多数寄せられました。



みらいクリニック今井院長



# 会員生協の組合員、役員・

## ●他生協研修 沖縄戦跡と平和を考える【11月17日～18日】

県連役員及び会員生協から13名が参加して沖縄に研修に伺いました。2日間とも晴となり、最高気温が28℃となる中、元コープおきなわの副理事長横田さんの案内で戦跡、基地、辺野古での研修を行いました。

最初の嘉数高台では、米軍が沖縄本島に上陸した海岸や普天間基地一体が見渡せました。住居や学校のすぐそばに普天間基地が存在し、年間1万回以上の離着陸による爆音と墜落の危険との隣り合わせで生活していることが理解できます。普天間基地にはオスプレイが24機配備されています。

訪問した日は、普天間飛行場の周辺住民が米軍機の実質的な飛行差し止めや損害賠償を求めた「第2次普天間爆音訴訟」の判決が言い渡された日でした。飛行差し止めは棄却され、米軍の運用に日本の法支配が及ばないとする判決となり「静かな生活」を求めた人々にとって不当なものとなりました。



南部戦跡めぐりでは、韓国人が無理やり沖縄に連れて来られ、壕掘りや弾薬運びなど戦争に協力させられ戦死された人が多数いることや、魂魄の塔では沖縄戦の終わりごろ、米軍の砲火に追われて、多くの人々が逃げまどい、攻撃され、あたり一面に沢山の死体が折り重なっていた場所です。南部には多数の戦跡があり、住民の多くが被害にあい、15万人以上が亡くなるなど戦争の悲惨な実態を知ることが出来ました。

2日目は、2004年8月普天間基地のそばにある沖縄国際大学構内にCH53ヘリが墜落した現場に行きました。日本にある米軍基地の実に約75%が沖縄に集中

しており、沖縄県では、戦後40回以上の米軍機の墜落事故が発生しています。続いて嘉手納基地では、広大な敷地の中で、無数のジェット機やヘリコプターが飛び交っていました。基地の騒音発生回数が測定されており、嘉手納におけるH25年度騒音発生回数は1日平均70.8回、平均70.3dB、最高103.7dBとなっています。

辺野古・瀬嵩の浜では、テント村で座り込みを続けている方からの話で、今回辺野古の基地計画は、滑走路の設置だけでなく、普天間に機能がなかった250m以上の大型船が接岸可能な護岸整備が計画されている。辺野古移転はもともと普天間の返還とは関係がなかった問題を、「普天間は世界一危険な基地」であり、辺野古への移転が必要との宣伝に使われていること、珊瑚が育つジュゴンの海を壊してはいけないこと、基地が沖縄に集中している実態を含めて1人ひとりに考えてほしいことを訴えられました。

限られた時間の中での研修となりましたが、横田さんやテント村の方から、戦争や被害の実態など具体的に話して頂き、あらためて戦争の犠牲となるのは住民であることや基地が存在することによる様々な生活破壊、事故や犯罪の発生など、平和について考える場となりました。



# 職員が交流し、学びました。

## ●ヘルスチャレンジ 約9500人の参加で取り組む

県生協連での統一として5年目を迎えたヘルスチャレンジで、今年度はコースの中に、岡山県の「晴れの国33プログラム」を紹介し、32名が参加しました。

また、今年は小学校へ働きかけを重点的にいき、その結果小学生からの申し込みが増えています。

昨年学校全体で「あいうべ体操」に参取り組んだ小学校では、市のインフルエンザ警報が発令された中でも学級閉鎖ゼロだったことが確信となり、異動先の小学校でもヘルスチャレンジの取り組みが行なわれています。

自治体が行っている健康づくりも「あいうべ体操」が入ってきており、親子での取り組みが効果を上げています。

「2か月ゴールイン!!あいうべ体操は、いつでもどこでも隙間の時間でできるので気に入りました。夫にも体操をするように声かけしながらがんばりました。」「歯みがきを8分することが、こんなにむずかしいとは思いませんでした。ずっと続けていけたらいいなと思います。」(小学生) など終了した方からの感想も多数寄せられています。



## ●ヘルスチャレンジで健康推進課健康づくり班との懇談を開催【2月、10月、12月 県庁】



今年に入り3回の懇談を行いました。ヘルスチャレンジの取り組みで健康づくりのきっかけとなった事例や、家族といっしょに取り組めた事例、実際に体調がよくなった事例等報告しながら、健康づくりの取り組みをさらに拡げていくために、行政との連携など話しました。

2016年度は岡山県が実施している晴れの国33プログラムの紹介をヘルスチャレンジの上級者用として紹介しました。引き続き行政との連携や協働事業として展開できることを目指していきます。

## ●医療部会 内部研修会【11月19日 津山医療生協】

医療部会の内部研修として「組合員活動でのコミュニケーションづくり」をテーマに33名の参加で開催しました。岡山医療生協和田専務が講師となり、「対話が協同組合の未来を拓く」を演題として講演と分散会での論議を行い、相手の立場にたって聞く事やいろんな価値観をもっていることを体感して理解することが出来た研修となりました。また、講演内容も良く、ゲーム方式で楽しく参加できる形態で行なうことが出来ました。



## ●コープフェスタ2016 健康チェックコーナー【9月24日コンベックス岡山】

おかやまコープ主催コープフェスタ2016が開催され、全体で2万人の方が訪れ、終日賑わいました。3医療生協は、健康チェックコーナーの運営を行い、多くの方が健康チェックにいられました。

今回は、骨密度測定、体力測定、足指力測定、すこしお生活、歩行バランスチェック、あいうべ体操、血圧・体脂肪測定を行い、スタンプラリーとして4つのコーナーを回るよう計画しました。



# 岡山県消団連、NPO消

## ●第30回 岡山県消費者大会【10月27日 オルガホール】

岡山県消費者大会を16団体190名の参加で開催しました。主催者を代表して県消団連近藤代表幹事より開会の挨拶が行なわれ、続いて講演では、「下流老人」の著者藤田孝典氏より「今社会で起こっていること～下流老人と貧困世代を中心に～」をテーマとしてお話頂きました。NPOを通じて自ら関わってきたホームレスに陥った方の支援やひとり親世帯の深刻さ、子どもの貧困など具体的に話され、現在の貧困は、下流老人だけではなく、若者や子どもも含めてすべての年代で広がっていること、ある程度働けば普通に生活出来た時代から変わってきており、将来の展望が見いだせない時代となっている。貧困問題をとりくまなければ、持続可能な社会になっていかないことを指摘し、最後に下流老人も貧困世代も生むのは社会であり、ソーシャルアクションを続けることで『暮らしにくさ』は変えられることを話されました。



ほっとプラス代表 藤田孝典氏



全員ですっきりはればれ体操



講演後は全員で岡山医療生協による「すっきりはればれ体操」を行い、リフレッシュしました。

団体報告では、JA女性協より、「地域とともに輝く私たちの取り組み」をテーマとして、若い世代フレッシュミズの活動や食農教育、地産地消、高齢者生活支援、生活習慣病予防、環境保全などの取り組みについて報告されました。

おかやま酪農業協同組合から「現在の酪農情勢と女性部活動」をテーマとして、岡山県の酪農の現状として、岡山は家族経営が主体となっており、乳牛の頭数がふえないと食べていけないこと、多額の投資が必要となっている。女性部の活動として畜舎美化の運動や乳質改善、消費拡大などの取り組みを行っていることについて報告されました。

おかやまコープから「おかやまコープの子育て支援」をテーマに、子育てひろば、子育てくらぶ「にこにこ」、はーとふるネットの取り組みやビジョンについて報告されました。

岡山県母親連絡会花田さんより大会決議案を提案し拍手で確認し、閉会挨拶を県消団連桐山代表幹事より行い終了しました。アンケートでも講演や各団体報告ともに「よかった」との声が多数寄せられました。



## 消費者被害撲滅キャンペーン【5月22日 シティライトスタジアム前】

岡山県が主催し「消費者被害撲滅キャンペーン」が開催されました。当日は、消費者ネットおかやま、岡山県消団連からも7名が参加し、県職員とともに消費者被害にあわないための啓発グッズ5,000個を配布しました。



ハーフタイムには、「消費者ホットライン188」を周知する横断幕をファジアーノの選手とともに掲げ、お知らせしています。

# 費者ネットおかやまとともに

## ●消費者ネットおかやまが消費者支援功労者団体表彰を受賞【5月30日 官邸】



消費者庁では消費者利益の擁護・増進のために各方面で活躍している方々を表彰する制度として、これまで「消費者支援功労表彰」を実施してきました。

この度、消費者ネットおかやまが特命担当大臣表彰を受けました。

表彰式では、河野特命担当大臣から表彰状の授与と受賞者に対して、「引き続き消費者被害が後を絶たない中、それぞれの皆さんの活動が引き続き重要であること、今国会では消費者契約法、特定商取引法の改正が可決成立し、悪質事業者への対応を厳しくしたこと」などにふれて祝辞がありました。

## ●消費者月間 講演会【6月11日 岡山県医師会館】

84名の参加で消費者月間講演会を消費者ネットおかやま、岡山県消団連、岡山県の共催で開催しました。開会にあたり、岡山県消団連近藤代表幹事より、消費者被害が撲滅できていない中、被害を防ぐ、させない、許さない社会、仕組みを作っていくことが必要であることなど挨拶を行いました。

続いて県消費生活センター田中所長より、平成27年度の相談件数や特徴について説明し、商品・サービス別相談件数では、情報通信関係の相談が多く、3割を占めている。バナー広告にふれて、有料サイトにつながり、登録済となり料金の支払いを求められる事例、インターネット通信サービスでのプロバイダーの変更に伴うトラブル等について説明されました。

「実例で学ぶおもしろ法律講座～消費者トラブルの手口と対策～」と題して、角田龍平弁護士から講演をして頂きました。家族が劇場型のオレオレ詐欺に関わった事例について、現金が至急必要であるかのように信じこませ、動転した被害者に現金を振り込ませるなどの手口について具体的に説明され、普段普通に対応できる人でも、動転して判断が出来なくなること、だれもが冷静に判断できるようにすること、すぐに結論をださないようにアドバイスされました。また、未公開株や社債などうまい話は存在しないことや裁判員裁判での裁判員などの興味深い話など楽しく聞くことが出来ました。



## ●消費生活サポーター講座を開催



岡山県が進める「消費生活サポーター講座」の委託事業を今年度も消費者ネットおかやまが受託することができ、県下で講座を開催しています。高齢者を見守る地域のリーダーや民生委員、福祉関係の方々、町内会等の受講が増えており、「地域の見守りネットワーク」につながることをめざしています。地域で気づきあい、見守りの活動が消費者被害をくいとめる力となることから、受講者がさらに拡がるように取り組みを進めています。

# 会員生協トピックス

## 岡山県学校生協

＜「消費者被害対策(消費生活サポーター)講座」を開催＞

特殊詐欺被害を防ぐために！  
消費者被害対策(消費生活サポーター)講座を開催しました。

日 時 2016年11月5日(土)10:00～12:00  
会 場 おかやま西川原プラザ2F 岡山市中区西川原255番地  
参加者 17名 事務局 8名 合計 25名  
講 師 NPO法人消費者ネットおかやま事務局長 大賀宗夫氏(司法書士)



強引なセールスで買ってしまった商品でも、法的手段(クーリングオフ制度)を使えば解約できることや購入商品を使用して汚してしまったものでも解約できるケースがあることを学びました。また、地域で困っている方のサインや不審な様子を見逃さないポイント、いざという時の相談窓口と連絡先等を確認しました。最後に、消費生活サポーター宣言を行い講座を終了しました。

## 三井造船生協

＜「第10回三井生協ふれあいまつり」を開催＞

2016年10月30日(日)、10回目となる「三井生協ふれあいまつり」がレクレーションミーティングホールと本店店頭にて開催され、組合員やご家族、地域の皆さまなど幅広い年代の方々にご来場いただきました。

コープ商品の試食や試飲のほか、コープ共済、介護部門、共同購入の相談会を行いました。また、ステージイベントでは、園児による鼓隊演奏をはじめ、吹奏楽演奏、ヒップホップダンス、フラダンスショーや、東兎ライダー・ショー、ものまねアーティストによるものまねライブなどで大変盛り上がりしました。終盤のお楽しみ抽選会では番号が呼ばれるたびに来場客から歓声上がり、たくさんの笑顔を見ることができました。

今年も多くの方々楽しんでいただき、三井生協ふれあいまつりが少しずつ地域に浸透し、地域とのつながりが増してきたことを実感できました。



## 岡山医療生協

＜「HPH(ヘルスプロモーションホスピタル～健康増進活動拠点病院の国際的ネットワーク)」に加盟＞

2016年、岡山医療生協はHPH(ヘルスプロモーションホスピタル～健康増進活動拠点病院の国際的ネットワーク)に加盟しました。ヘルスプロモーションとは「人々が自らの決定要因をコントロールする能力を高め、それによって自らの健康を改善できるようにするプロセス」のことです。岡山医療生協が「健康づくりの拠点」として地域に定着するため、今年度も「いつまでも健康で安心して住み続けられまづくり」の視点に立って、組合員活動を進めていきます。



## 倉敷医療生協

＜「コープリハビリテーション病院・老健あかね」竣工式＞



2016年12月5日、コープリハビリテーション病院・老健あかねの竣工式がとり行われました。地上7階建て総床面積8,582㎡の建物で、外来、リハビリテーション施設、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟、老健入所施設、ショートステイ、在宅リハビリテーション、歯科診療室、相談室・連携室と、「まるごとリハビリテーション」の新しい病院・老健施設です。近隣の医療機関、介護施設との連携、無料低額診療事業、障害者総合支援法による短期入所事業も行います。2月1日のオープンめざして、準備をすすめています。

## 岡山県労済生協（全労済岡山県本部）

### <「SON（スペシャルオリンピックス日本）・岡山の地区大会」へのボランティアスタッフ参加>

全労済の50周年、NEXT50を機会に参画をはじめた「SON（スペシャルオリンピックス日本）・岡山の地区大会」へ、社会的な取り組みとしてボランティアスタッフ参加するとともに、各地区で開催している推進会議、労済生協総代会において募金活動を実施しています。

2016年は4つのプログラムにボランティア参加しました。

| 日にち      | 競技名（全労済からのボランティア参加数） | 開催場所         |
|----------|----------------------|--------------|
| 6/25（土）  | 卓球競技（5名）             | 岡山市障害者体育センター |
| 7/24（日）  | ボウリング競技（9名）          | 両備ボウル        |
| 9/11（日）  | 水泳競技（6名）             | OSKスポーツクラブ岡山 |
| 10/11（月） | 陸上競技（5名）             | 神崎山公園陸上競技場   |

※スペシャルオリンピックス（SO）は知的発達障害のある人たちに、日常的なスポーツ・レーニングとその成果の発表の場である競技会を年間通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。

また、生活協同組合の社会的取り組みとして、県内各地で防災体験プログラムを開催しています。



## 津山医療生協

### <「介護者のつどい（主催：介護利用者委員会）」を開催>

津山医療生協が毎年開催している「介護者のつどい（主催：介護利用者委員会）」は今回で3回目となり過去最多の23名の参加がありました。

「介護者」とは要介護の方を介護している方（広義では職員を含む）を指しますが、このつどいが主に参加対象としているのは家族介護者です。日本の社会保障は実質的に家族制度を前提にしており、とりわけ日本の介護では配偶者及び子の配偶者が中心的に支えているケースが多いとされます。

今回の学習講演は「認知症家族の介護体験談」で、義母の認知症進行と自身の介護ストレスの解消法の話でした。講演後は苦労や悩みの交流を通じて介護職員や他の参加者からのアドバイスを受ける場面も見受けられ、介護は決して孤独では無く仲間が多くいると実感する機会となったようです。

年1回ではありますがこうした交流の場へのニーズは高まっており、津山医療生協としても「つどい」の充実は今後とも務めていきたいと考えております。



## グリーンコープ生協おかやま

### <組合員主体の活動>

2016年も、組合員が主体となり、自分たちで考え、企画開催する取り組みを行いました。自分たちも楽しく参加することで、活動の幅も広がり、たくさんの方たちと出会うことができました。

岡山北B地区委員会では、12月に岡山県内の生産者を講師に招き、産直国産牛について学び、美味しくいただくコツを教えてくださいました。参加者も多く、産直国産牛が家庭に届くまでの経過、産直の特徴、生産者の思いを直接学び、一緒に調理をすることで、生産者と組合員、そして組合員同士の交流の場となりました。

また、倉敷A・B地区委員会では、10月に熊本県から「れんこん生産者」を招いて料理教室を開催しました。生産者から直接、れんこんのおいしさのヒミツや、おいしい調理方法などをご紹介いただき、参加者のみなさんにはグリーンコープならではの「産直」のよさを楽しくおいしく実感していただきました。

今後も地域に根ざした組合員活動を充実させていきたいと思っています。



# 会員生協トピックス

## おかやまコープ <行政との連携を進めています>



高梁市との協定締結  
(平田理事長と近藤市長)

おかやまコープでは、安心して暮らせる地域づくりをめざし、行政や地域の諸団体との連携を図るため、行政訪問などを積極的に行い、県や市町村との協定締結を進めています。

2016年度12月までに、岡山県の28自治体中、26自治体(岡山県と25市町村)と「包括連携協定」や「地域見守り協定」、「災害時物資協定」の協定を締結することができ、5市の総合事業協議体への参加などにもつながりました。

協定締結状況 2016年12月末現在  
※西粟倉村は2017年1～2月頃 協定締結予定  
※玉野市は、三井造船生協と協定締結しています

## 《コープでワクワク「おしゃべりパーティー」に6万人が参加！》

今回で6年目となるコープでワクワク「おしゃべりパーティー」が9月～10月に開催され、6万人の人と人とのつながりが深まりました。この取り組みは、商品を囲んでおしゃべりする集まりで、「人と人とのつながりが希薄になりつつある地域社会の中で、人と人とのつながりを大切に」きっかけづくりをおかやまコープが応援する企画です。自宅や友人宅、職場など12,516ヶ所で開催され、おしゃべりに花が咲きました。



## 岡山大学生協 <受験生応援の対応>

岡山大学生協では毎年、さまざまな受験生の不安を解消するために、生協学生委員会C.C.C!のスタッフを中心に、JR岡山駅での道案内や津島キャンパス・鹿田キャンパス内の道案内・受験生相談の対応を行っています。

また、受験生に付き添って来られる保護者様を対象とした「受験時保護者説明会」を開催し、お子様の受験はもちろんですが、その後の「入学準備」や「一人暮らしのお部屋探し」への不安を少しでも解消して頂けるようにアドバイスを行っています。



## 就実生協 <「就実生活協同組合」オープン！>

2016年9月28日、県内で2番目の大学生協、「就実生協」がオープン、事業開始を迎えました。当日は学内にてオープニングセレモニーが行われ、学園理事長、学長など来賓の皆様から祝辞を頂き、参加の教職員、学生組合員とともに就実生協の門出を祝いました。



就実生協は当面2つの食堂とカフェ、ショップの4つの店舗を運営していきます。6月17日に開催された創立総会から急ピッチで開業準備をすすめ、この日を迎えることができました。リニューアルされた店舗や商品(メニュー)に、利用の学生からはさっそく驚きやよろこびの声も上がっていました。また、オープニングイベントとして生協学生部(seedS)による「ガラポン大会」も実施され、たいへん賑わっていました。

ひとまず事業開始を迎えたとはいえ、大学生協にとってはもっとも重要な次年度新学期がさっそくやって来ます。就実大学・就実短期大学の構成員の生活がより豊かなものとなるように、みなさまの引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

## 会員紹介 (設立期順)

### 岡山県学校生活協同組合

**代表者名** 理事長  
梶原 洋一

**組合員数** 18,114 人

**出資金** 167,211 千円

**供給高** 753,044 千円

**活動エリア** 岡山県下、保・こども園  
幼・小・中・高校・支援  
大学職域 (県下全域)



**設立登記年月日**

1949年9月10日

**役員数** (常勤) 2人 (非常勤) 15人 (監事) 3人

**職員数** (正規) 7人 (内1人出向) (パート) 2人

**概略**

岡山県学校生活協同組合は、県下公私立の保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等・支援学校・大学、教育庁関係職場に勤務される方とその職場を退職された教職員を対象とした職域生協で、組合員より拠出された出資金により運営される事業体です。

学校生協は、1949年に発足以来、組合員の皆さまとともに幾多の困難を乗り越えながら、今日まで発展してきました。今、私たちを取り巻く状況は、行先不透明で不安をかかえたまま推移しています。こういう時だからこそ「平和や暮らしを守る生協運動」の果たす役割がますます大切になってきています。今後とも、学校生協事業を魅力あるものに変革しながら、生協本来の活動に邁進し、組合員の福利厚生を担う事業体として更に活動を続けてまいります。

### 三井造船生活協同組合

**代表者名** 理事長  
武部 吉治

**組合員数** 25,776 人  
(2016年10月末日現在)

**出資金** 556,401 千円  
(2016年10月末日現在)

**供給高** 4,306,683 千円  
(2015年度)

**活動エリア** 玉野市、岡山市、  
倉敷市



**設立登記年月日** 1950年11月

**職員数** (正規) 111人 (2015年度末)  
(定時) 66人 (2015年度末)

**概略**

創立以来『人とひとのつながりを大切に、健康で心豊かなくらしの実現を目指します』の理念のもと、現在では職域ばかりでなく、地域組合員のくらしを支える共同相互組織として、店舗事業 (玉野市内に5店舗)、共同購入、葬祭事業、福祉介護事業、旅行業、共済事業など幅広く展開しています。

また、組合員活動では1956年に結成した家庭会 (地域組合員組織) を中心として環境問題や福祉活動その他安全な商品の提供にも積極的に取り組んでいます。中でも家庭会チャリティーバザーは第1回目の1979年から連続38年間、毎年その収益金を玉野市の社会福祉事業へ寄贈 (累計で1,798万円) など、まさに地域社会にしっかりと根ざした活動となっています。

これら、事業及び組合員活動の歴史を礎に、組合員による組合員のための生協、安心・安全をキーワードとした生協、また、人と環境にやさしい地域社会づくりに貢献できる生協をめざします。

くらしの中に、そして地域の中に生協がある。

~こういう生協をめざして~

### 岡山医療生活協同組合

**代表者名** 理事長  
木村 高清

**組合員数** 66,728 人  
(2016年11月末現在)

**出資金** 1,881,518 千円  
(2016年11月末現在)

**供給高** 7,965,027 千円  
(2015年度)

**活動エリア** 岡山県下一円



**設立登記年月日** 1952年10月21日

**役員数** (常勤) 8人 (非常勤) 24人 (監事) 5人

**職員数** (正規) 685人 (定時) 295人

**概略**

岡山医療生協は、いのちと心を大切にします。

1952年に設立された当組合は、現在2つの病院、4つの診療所、11の介護事業所、健診センターで構成され、健診から急性期医療~在宅まで、地域の皆さまの様々な要望にお応えしています。

当組合では、設立当初より「いのちの平等」を掲げ、人権を大切に医療・介護をすすめています。そのため、入院時も部屋代 (室料差額) を頂かないことや、2012年1月には2つの病院で無料低額診療事業 (患者さんの負担能力に応じて、窓口負担分を無料又は低額にする制度) を開始し、拡大する貧困への対応を強めています。

昨年は健康づくりで『すこしお健康生活』のすすめ、地域づくりで『つながりマップづくり』による地域の見える化、子育て世代への働きかけとして『キッズクラブ』の活動を中心にさまざまな子育て応援企画を行うなど新しい取り組みや、新たな層への働きかけを積極的に行ってまいりました。また、『コープ倉敷歯科』の開設、せいきょう駅元診療所の閉院と『コープ大野社クリニック』の開設、『デイサービス虹の家』の新築移転といった事業への取り組みを行っています。

今後、透析センターの開設などセンター病院『協立病院』のリニューアル計画に向けて、大きな飛躍と成長をめざします。

### 倉敷医療生活協同組合

**代表者名** 代表理事 谷 謙一

**組合員数** 65,791 人

**出資金** 1,706 百万円

**供給高** 102 億円

**活動エリア** 岡山県全域



**設立登記年月日** 1955年2月28日

**役員数** (常勤) 11人  
(非常勤) 17人 (監事) 5人

**職員数** (常勤) 844人 (非常勤) 462人

**概略**

倉敷医療生活協同組合は、総合病院水島協同病院を中心に、3病院、3医科診療所、7歯科診療所、3訪問看護ステーション、老人保健施設、ヘルパーステーションに加え、倉敷市の高齢者支援センター、助産院など多彩な機能を持った27事業所を有して、医療・介護・福祉と健康づくりのネットワークを展開しています。

2013年 (創立60周年)、組合は将来を見据え、医療の質の更なる向上や災害にも強い安全・安心な事業所づくりを提起し、2014年に玉島協同病院の高台への移転新築、水島協同病院非常用電気設備の増設・高架工事を、2015年には阿新歯科診療所を移転新築しました。そして、本年2月にはコープ八ピリテーション病院・老健あかねが新天地でスタートします。他の医療機関、介護事業所、福祉施設等とも連携を強化し、いのちのネットワークをより一層充実させます。

また、地域では「助け合い・支え合い」「人と人とのつながり」を大切にするため、自治体・他法人・社協・地域組織・町内会等と連携・協力し、居場所づくりとしてのサロン活動や子ども食堂、あらゆる機会を活かしてイベントや街角で健康チェックに取り組んでいます。12年目となったヘルスチャレンジでは、児島地域の小学校3校が先生・児童あわせて学校ごと参加いただき、あわせて4900名を超える方々の参加で、健康づくりの輪が大きく広がっています。

引き続き、行政や地域の諸団体と協力し、組合員、地域住民の切実な思いに寄り添い、「人が人として大切にされる社会」をめざして活動を強めます。

## 会員紹介 (設立期順)

### 生活協同組合おかやまコープ

代表者名 理事長 平田 昌三  
 組合員数 337,559 世帯  
 (2016年11月末日現在)  
 出資金 106.2 億円  
 (2016年11月末日現在)  
 総事業高 400.3 億円  
 (2015年4月1日~2016年3月31日)  
 活動エリア 岡山県一円 (定款エリア)  
 設立登記年月日 1956年 6月 13日



役員数 (常勤理事) 3人 (非常勤) 15人  
 (常勤監事) 1人 (監事) 4人  
 職員数 (正規) 422人 (定時) 1,593人 (2016年11月末日現在)  
**概 略**

おかやまコープは、岡山県内の4割を超える33万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。宅配と店舗での食品や日用品などを供給する購買事業を中心に、COOP 共済《たすけあい》などの共済事業、訪問介護やデイサービスなどの福祉事業を行っています。

品質マネジメントシステムの国際規格 ISO9001 を取得しています。また、安全・安心な商品の提供や産直事業、地産地消の取り組みをすすめ、循環型農業を応援しています。

商品学習や産地交流などの商品活動やたべる・たいせつ活動、省エネ活動やリサイクル活動、マイバッグ運動などの環境の取り組み、核兵器と戦争のない世界をめざしての平和活動、ユニセフや AMDA への支援をすすめる国際協力支援活動、「子育てひろば」などの子育て応援活動やお互いさまの気持ちで支えあう「は〜とひるネット」の活動など、多彩な組合員活動にも取り組んでいます。

また、安心してくらす地域社会づくりを地域の皆さんとつながって一緒に幅広くすすめていこうと、くらしの困りごとの解決にお役立ちする「生活支援サービス」や里海・里山づくりの取り組み、自治体との見守り協定や災害時物資協定の締結などをすすめています。

子会社のコープP&Sでは、保険、旅行、飲食、フィットネスや葬祭などの斡旋事業を行っています。また、子会社のコープファームおかやま、ハートコープおかやまでは、障がい者を雇用したトマト生産をすすめています。

### ヤンマー農機製造岡山地区生活協同組合

代表者名 代表理事  
 世一 寛行  
 組合員数 373人  
 出資金 373千円  
 供給高 14,815千円  
 活動エリア 職域 (工場内)  
 設立登記年月日  
 1965年 1月 25日



役員数 (常勤) 0人 (非常勤) 8人  
 職員数 (正規) 1人 (定時) 0人  
**概 略**

当生協は新岡山港に程近い、YANMAR 農業機械の総合機械メーカーとして2013年4月に新たにスタートしたヤンマー農機製造内で活動しております。

組合員数約370名と限られた範囲での活動ですが、組合員のニーズを反映した、きめ細かい対応をめざして活動が出来るよう努力をしていきたいと思っています。

また、4月に起きた熊本地震の募金箱の設置など、微力ですが、社会貢献に役立つ活動にも協力していきたいと思っております。

そして、一年間を通じての地域の公園や遊歩道のクリーン作戦も回を重ね、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思っております。

### 岡山県労働者共済生活協同組合

代表者名 理事長  
 石田 一  
 組合員数 16万7883人  
 出資金 11億9743万8600円  
 契約件数 7万4600件 (46万8591件)  
 契約口数 34万4420口 (5124万7120口)  
 給付件数 2,802件 (2万6594件)  
 給付金総額 1971万7500円 (39億6714万3845円)  
 活動エリア 岡山県一円  
 設立登記年月日 1961年 4月 1日



役員数 (常勤) 2人 (非常勤) 23人  
 職員数 1人 (25人) ※ ( )内は連合会実績  
**概 略**

岡山県労働者共済生活協同組合 (全労済岡山県本部) は、営利を目的としない保障の生協として、岡山県と厚生労働省の認可を得て事業運営を行っています。

当生協は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念とし、組合員の皆さまの「安心とゆとりある暮らし」をめざした活動を行っています。

これからも、「組合員の全労済」「正直な全労済」「努力の全労済」を信条とし、組合員のくらしを何よりも大切とし、組合員や地域社会からの信頼に応え、社会の発展のために行動し、たすけあいの心を大切にする事により、全労済に関わるすべての人の満足に向け努力し続けます。

### 津山医療生活協同組合

代表者名 理事長  
 井ノ上義明  
 組合員数 5,315人  
 出資金 76,636千円  
 供給高 373,762千円  
 活動エリア 定款区域  
 (主には津山市と津山市周辺町村)  
 設立登記年月日  
 1980年8月12日



役員数 (常勤) 1人 (非常勤) 17人 (監事) 4人  
 職員数 (正規) 24人 (定時) 30人  
**概 略**

津山医療生協は、患者・利用者の権利を尊重し、親切でやさしい医療・介護をこころがけ、地域の人達の命と健康を守るために全力を尽くしています。

高齢化社会が進み、医療や介護、暮らしをめぐる生活の環境が変わる中で、診療所・訪問看護ステーション・ケアプランセンター・ヘルパーステーション・デイサービスなど保健・医療・福祉 (介護) のネットワークをひろげています。

特に在宅診療では365日安心・安全の医療・介護サービスを行っています。

また組合員との協同による地域での健康づくりを進めています。

## 会員紹介 (設立期順)

### 岡山大学生協同組合

**代表者名** 理事長  
田口 勇仁

**組合員数** 15,526人

**出資金** 275,210千円

**供給高** 2,085,096千円

**活動エリア** 岡山大学津島・鹿田キャンパス



**設立登記年月日**  
1995年2月20日

**役員数** (常勤) 2人  
(非常勤) 28人  
(監事) 4人

**職員数** (正規) 21人  
(定時) 180人

#### 概 略

岡山大学生協同組合は岡山大学の学生・教職員の手によって1994年12月に設立されました。

大学生協は、大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場としての大学にふさわしい様々な活動を行っています。

岡山大学では、津島キャンパスのピーチユニオン・マスカットユニオン・ピオーネユニオン及び鹿田キャンパス医学部記念会館という大学の福利厚生施設の中で、構成員のニーズにもとづいて、購買・書籍事業、旅行事業、食堂事業、共済事業、住生活支援事業など幅広い事業に取り組んでいます。

### グリーンコープ生活協同組合おかやま

**代表者名** 理事長  
堀 早織

**組合員数** 6,056人  
(2016年3月20日現在)

**出資金** 231,590千円  
(2015年度末)

**供給高** 882,044千円  
(2015年度)



**活動エリア** 岡山市・倉敷市・赤磐市・瀬戸内市・総社市及びその周辺地域 (共同購入と個配事業)

**設立登記年月日** 2003年8月13日

**役員数** (常勤) 1人 (非常勤) 16人 (監事) 3人

**職員数** (職員) 17人 (定時職員) 20人

#### 概 略

グリーンコープ生協おかやまは、安心・安全な食べものを求め、環境問題や地域福祉、平和の取り組みなどに関心ある消費者が集まり、2003年8月に設立しました。

無・減農薬で栽培された青果・農産物や遺伝子組み換えされていない飼料で育てた畜産物、なるべく添加物を使わずにつくった加工品など「いのちを育む食べ物」を、組合員に届けています。また、生産者やお取引先メーカーとの「顔の見える関係」を大切にすることで、組合員世帯の食の安全を守るとともに、国内の農畜産業を守っていく取り組みとして位置づけ進めています。

今の時代、経済と社会不安が大きくなっていく中で、一番大切な事は「信頼」です。組合員と地域の人々との「助け合っていく。支えあっていく。」をつくっていくことができる生協を目指して参ります。

### 就実生活協同組合

**代表者名** 理事長  
杉山 慎策

**組合員数** 597人  
(2016年11月末現在)

**出資金** 11,645千円  
(2016年11月末現在)

**活動エリア** 就実学園  
(現在は、大学・短大キャンパス内でのみ営業)



**設立登記年月日**  
2016年8月5日

**役員数** (常勤) 1人 (非常勤) 14人  
(監事) 4人

**職員数** (正規) 1人 (定時) 27人

#### 概 略

就実生活協同組合は、就実大学・就実短期大学の学生・教職員が中心となって、2016年6月に設立されました。組合員である学生及び教職員が自主的に運営に参加し、大学の生活環境を改善・向上させ、学習や教育及び研究活動をより充実させるために、「学生にとって実りある居場所づくり」を目標に立て、組合員の皆さんの要望を聞き、その要望に多く応えられる担い手として、様々な活動を行っています。

現在は、大学、短期大学の福利厚生施設の中で食堂、喫茶、売店などの事業を行っています。今後も、キャンパスライフの充実を目指し、教育・研究の支援ができるように事業を発展させていきたいと思っています。

### 県生協連会員生協名簿

| 会 員 生 協 名          | 住 所                           | 電話・FAX                               |
|--------------------|-------------------------------|--------------------------------------|
| 岡山県学校生活協同組合        | 〒703-8258<br>岡山市中区西川原 255     | TEL 086-272-4033<br>FAX 086-272-4034 |
| 三井造船生活協同組合         | 〒706-8501<br>玉野市玉二丁目 5-5      | TEL 0863-31-5566<br>FAX 0863-31-7459 |
| 岡山医療生活協同組合         | 〒703-8288<br>岡山市中区赤坂本町 2-20   | TEL 086-271-0943<br>FAX 086-271-7854 |
| 倉敷医療生活協同組合         | 〒712-8025<br>倉敷市水島南春日町 13-1   | TEL 086-444-4321<br>FAX 086-448-4150 |
| 生活協同組合おかやまコープ      | 〒700-0026<br>岡山市北区奉還町 1-7-7   | TEL 086-256-2511<br>FAX 086-256-2585 |
| 岡山県労働者共済生活協同組合     | 〒700-0024<br>岡山市北区駅元町 6-26    | TEL 086-254-2155<br>FAX 086-254-8116 |
| ヤンマー農機製造岡山地区生活協同組合 | 〒702-8004<br>岡山市中区江並 428      | TEL 086-276-8111<br>FAX 086-276-8152 |
| 津山医療生活協同組合         | 〒708-0872<br>津山市平福 546-1      | TEL 0868-28-2057<br>FAX 0868-28-3835 |
| 岡山大学生協同組合          | 〒700-8530<br>岡山市北区津島中 2-1-1   | TEL 086-251-7207<br>FAX 086-256-0445 |
| グリーンコープ生活協同組合おかやま  | 〒700-0973<br>岡山市北区下中野 311-113 | TEL 086-805-2566<br>FAX 086-805-2569 |
| 就実生活協同組合           | 〒703-8258<br>岡山市中区西川原 1-6-1   | TEL 086-201-2250<br>FAX 086-201-2259 |

# 岡山県生活協同組合連合会紹介



## 概 況

1959年9月に創立総会を開催して設立された岡山県生協連は、当初17生協の参加でスタートしました。現在、11の会員生協に、延べ約70万世帯の組合員が加入する県内最大の消費者組織となっています。購買生協は地域・職域の7生協、医療生協は3生協、それに労済生協とで構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとってなくてはならない存在となっています。

代表者名 会長理事 近藤 清志

会員数 11生協

会員総組合員数 699,026人(2015年度)

会員総出資金 1,629,316万円(2015年度)

会員総事業高 7,379,426万円(2015年度)

設立登記年月日 1960年3月2日

役員数(常勤理事) 1人

(理事) 12人

(監事) 3人

職員数(定時) 1人

## 役員構成

|       |       |                         |
|-------|-------|-------------------------|
| 会長理事  | 近藤 清志 | (常勤)                    |
| 副会長理事 | 平田 昌三 | (生活協同組合おかやまコープ理事長)      |
| 副会長理事 | 武部 吉治 | (三井造船生活協同組合理事長)         |
| 副会長理事 | 谷 謙一  | (倉敷医療生活協同組合専務理事)        |
| 理事    | 井ノ上義明 | (津山医療生活協同組合理事長)         |
| 理事    | 和泉かよ子 | (倉敷医療生活協同組合理事)          |
| 理事    | 加藤 孝昭 | (岡山県学校生活協同組合専務理事)       |
| 理事    | 木村 高清 | (岡山医療生活協同組合理事長)         |
| 理事    | 佐々木和宏 | (グリーンコープ生活協同組合おかやま専務理事) |
| 理事    | 馬崎 健一 | (岡山県労働者共済生活協同組合専務理事)    |
| 理事    | 宮本 紀子 | (生活協同組合おかやまコープ理事)       |
| 理事    | 毛利 静江 | (三井造船生活協同組合理事)          |
| 監事    | 青井 昭洋 | (岡山県労働者共済生活協同組合総務部部長)   |
| 監事    | 岡本 秀雄 | (生活協同組合おかやまコープ常勤監事)     |
| 監事    | 河本志津恵 | (岡山医療生活協同組合常任理事)        |
| 顧問    | 安場 靖  | (前会長理事)                 |

岡山県生活協同組合連合会 岡山市北区奉還町1-7-7 オルガ5階

Tel 086-230-1315 Fax 086-230-1317 ホームページ <http://okayama.kenren-coop.jp/>